

## 国際交流促進事業

予算額 **511万円**

多文化共生のまちづくりを推進するため、国際交流協会と連携し、地域日本語教室や多文化交流事業を実施します。また、多様性を理解し協力し合える人材の育成を図るため、姉妹都市との交流を推進します。

## まちのにぎわいづくり事業

予算額 **3億2,076万円**

R6線越予算額 **3,707万円**

当市が誇る歴史ある息栖神社(東国三社)や神之池緑地、波崎東部地域の魅力を向上させ、市内外から多くの方々に訪れていただくことにより、定住人口および交流人口などの拡大による地域の活性化を図ります。

### 息栖神社周辺整備

- 息栖にぎわいテラス(2025年10月オープン予定)の運営管理
- 風情を演出する石畳風舗装整備 ● 船だまり周辺の景観整備

### 神之池緑地整備

- 桜守隊育成および樹木再配置

### 波崎東部地域

- 波崎東部地域活性化基本計画に基づく実施方針の検討(波崎東ふれあいセンター用地の活用)
- 波崎東部市営住宅跡地用地測量(旧市営住宅用地の活用)



息栖にぎわいテラス整備イメージ

## 民間住宅助成事業

予算額 **9,282万円**

移住・定住の促進と地域の活性化を図るため、子育てや親と同居を目的に住宅を取得した場合に、その費用の一部を補助します。また、定住者の安全で安心な住宅性能を維持向上させ、住宅の長寿命化を促進する事を目的とし、外壁や屋根など改修費用の一部を補助します。

- **拡**かみす子育て住まい給付金 ● **新** 住まい安心リフォーム補助金



## 7 自治体運営

### 広報戦略事業

予算額 **1,760万円**

市の多様な魅力を市内外に戦略的・効果的に情報発信し、シビックプライド(市への愛着や誇り)の醸成と移住および交流のきっかけを与え、地域の活性化を図ります。

- 魅力情報発信ポータルサイト「カミスミカ」、子育て・移住定住ポータルサイト「かみす移住・子育てさみっと」を活用
- 懐かしのグルメ復活プロジェクト
- イメージキャラクター、PR大使の活用 ● エフエムかしま「かみす放送局」の発信



懐かしのグルメを楽しむ様子

### 電子自治体推進事業

予算額 **2億7,060万円**

デジタル技術を積極的に活用し、さらなる市民サービスの利便性向上と行政の業務効率化を目指す「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」の取り組みを推進します。

- DXによる窓口サービス向上  
例：電子申請、書かない窓口、オンライン窓口予約、庁舎間オンライン相談窓口 など
- 住民サービスに直結する20の業務システムの標準化・共通化
- 新技術による行政事務効率化(RPA・AI-OCRの導入業務の拡大など)

## 4 都市基盤

### 市道整備事業・市道補修整備事業

予算額 **10億6,423万円**

生活道路において、未整備道路の舗装および側溝の整備をおこない、通行性や利便性の向上を図ります。また、主として交通量の多い道路などについて、長期的視野で計画的に改修工事を実施し、経年劣化およびわだちなどを解消することにより、良好な道路機能を維持します。

### 空家等対策事業

予算額 **2,601万円**

管理不全な空き家などの所有者などに対し適正な管理を促し、倒壊などの恐れがある危険な空き家などの減少を図ります。

また、空き家の利活用を通じて、良好な住環境の確保および空き家を活用した移住の促進を図ります。

- 空家利活用促進事業補助金 ● 移住・定住お試し住宅
- 第3期空家等対策計画改定 ● 空家解体支援事業補助金



## 5 教育・文化

### 学力向上推進事業

予算額 **1億6,907万円**

市内外の企業・事業所などと教育分野が連携し、意見交換や交流活動を展開する「キャリ☆フェス神栖」を開催するほか、英語力の向上や国際感覚の育成を図るため、ブリティッシュヒルズやイングリッシュキャンプでの研修を実施するなど、学習支援体制の充実や教職員の資質向上を図り、児童生徒の確かな学力の定着を目指します。

### 小・中学校給食費の無償化

予算額 **1億7,531万円**

物価高騰に直面する保護者の経済的負担を軽減するため、2020年度から引き続き、児童・生徒の学校給食費保護者負担金を1年間無償にします。



### 平和行政の推進

予算額 **100万円**

2025年は、戦後80周年を迎える節目の年でもあることから、平和行政の取り組みとして毎年実施している戦没者の追悼式に加えて「広島・長崎原爆被災ポスター展」の開催場所を増やすなど、より充実して開催します。



## 6 地域づくり

### 市制施行20周年記念事業

予算額 **2,937万円**

2005年8月1日に合併と同時に市制施行し、2025年度に20周年という節目の年を迎えるにあたり、記念式典を開催するとともに、記念事業を展開します。

